

有田市 津波ハザードマップ

グラッと来たら、高い場所へすぐ逃げる！

強い揺れや長い揺れを感じた場合、すぐにできるだけ高い場所へ避難しましょう。

1. 地震が来たら高い場所へ避難する

地震が起これば津波が来ると考えましょう。一旦家に帰るのでではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。



2. 津波はくり返し来る！

津波はくり返し襲ってきます。「警報」、「注意報」の解除まで気を緩めないようにしましょう。



3. 率先して避難する

緊急時は、できるだけ早く避難しなければなりません。

周囲に避難を呼びかけつつ、自ら率先して避難しましょう。



4. 避難に車は使わない！

車での避難は止めましょう。渋滞に巻き込まれ、被害を大きくすることもあります。



東日本大震災の知見

一旦家に戻った際に、津波に巻われ、多くの方が犠牲となりました。



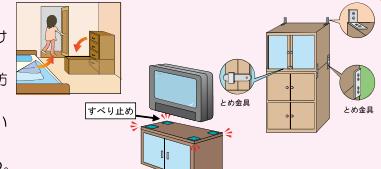
車が渋滞を引き起こし、前にも後ろにも移動できなくなり、避難できなくなる場合がありました。



地震被害を防ぐポイント

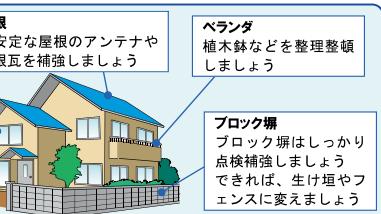
◆家の中の安全確認

○戸建住宅などの場合は、できるだけ2階で寝るようにしましょう。
○棚やタンスなどの家具には、転倒防止金具を取り付けましょう。
○部屋の入り口付近には物を置かないようにしましょう。
○テレビや置物などは固定しましょう。



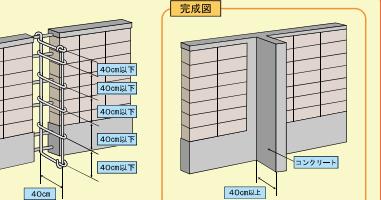
◆家の周囲の安全確認

窓ガラス：飛散防止フィルムを貼りましょう。
屋根：不安定な屋根のアンテナや屋根瓦を補強しましょう。
ベランダ：植木鉢などを整理整頓しましょう。
プロパンガス：ボンベをしっかり鎖で固定しましょう。



◆ブロック塀の安全対策

塀壁がないブロック塀は、コンクリートで図のように新しい塀を作りましょう。
※傾きやひび割れがあるなど改修が難しい場合は、塀を撤去して造り変えましょう。



我が家への耐震化

県と市では、所有者の負担を軽減するために、住宅の耐震診断・耐震改修等の助成制度を設けています。

耐震診断・補強プランに関するお問合せ先
有田市 建設課建築住宅係 TEL: 0737-83-1111(内276) FAX: 0737-82-1725
メール: kenchikujutaku@city.arida.lg.jp



〒649-0392 和歌山県有田市箕島 50番地
TEL: 0737-83-1111 FAX: 0737-82-1725
ホームページ: http://www.city.arida.lg.jp/index.html

平成 26 年 3 月発行

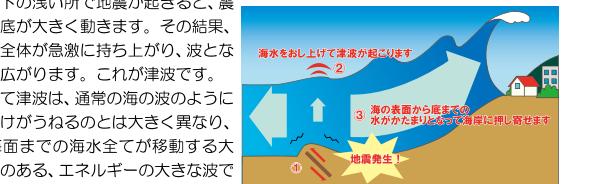
津波に備えましょう

津波は時として尊い命や大切な財産まで奪ってしまうことがあります。津波による被害を最小限にとどめ、住民の安全を確保するためには、普段から住民の一人ひとりが、災害に備えておくことが必要です。

有田市では、地震発生後 30~40 分で津波が到達すると想定されます。いざというときに素早く避難できるように、普段から自宅や通勤・通学先からの避難場所を確認し、実際に歩いて訓練しておきましょう。

津波とは

海底の地下の浅い所で地震が起きると、震源付近の海底が大きく動きます。その結果、周辺の海水全体が急激に持ち上がり、波となって周りに広がります。これが津波です。したがって津波は、通常の海の波のように海水表面だけがうねるのではなく、海底から海面までの海水全てが移動する大変スピーディーのある、エネルギーの大きな波です。



避難目標地点・津波避難ビルの把握

あらかじめ家族で話し合って、避難先を決めておきましょう。

出入口を事前に確認

すぐに避難できる高台や鉄筋コンクリートの建物を事前に探し、あらかじめ出入口を把握しておきましょう。



時間内に避難できるか確認

避難時には長距離を移動する場合などが考えられます。特に高齢の方は、時間内に避難できるか、十分に確認をしておきましょう。



避難訓練

・間違と夜間では、町並み、歩いている感覚、距離感、地理感などが変わります。色々な時間帯を想定した避難訓練をして、災害に備えましょう。
・自治会や自主防災組織で、地域の特性に応じた避難の仕方、避難時の危険性について考えておきましょう。



避難行動要支援者への対応

高齢者や寝たきりの方

・緊急時は支援を受けて、安全な場所に移動しましょう。

車イス利用の方

・階段は2人以上で支え、上りは前向きに、下りは後ろ向きに移動しましょう。

・介護者が1人の時は、ひもなどを用いて背負って移動しましょう。

確実に避難できる体制を整えましょう

・時間内に確実に避難できる体制を、地域、隣近所、家族で考えましょう。
・施設管理者は、滞りなく避難できるよう、避難計画を立て、避難訓練を実施しましょう。

避難行動要支援者に関するお問合せ先
有田市 福祉課民生係 TEL: 0737-83-1111(内287) FAX: 0737-83-6205
メール: fukusi@city.arida.lg.jp

津波警報・注意報の種類と取るべき行動

津波の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報、または津波注意報が発表されます。

ただし、震源が陸地に近い場合には、地震発生後、極めて短時間の間に津波が来ることがあります。強い地震を感じたり、弱い地震でも長い時間ゆっくりとした揺れを感じたりしたときには、津波が来るおそれがあるので、警報や注意報が発表される前でもただちに避難しましょう。

種類	発表される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報 (特別警報*)	10m超(10mく高さ) 10m(5mく高さ10m) 5m(3mく高さ5m)	巨大	海岸や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。
津波警報	3m(1mく高さ3m)	高い	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。
津波注意報	1m(0.2mく高さ1m)	一	※経験したことのないような異常な現象が起きそうな状況

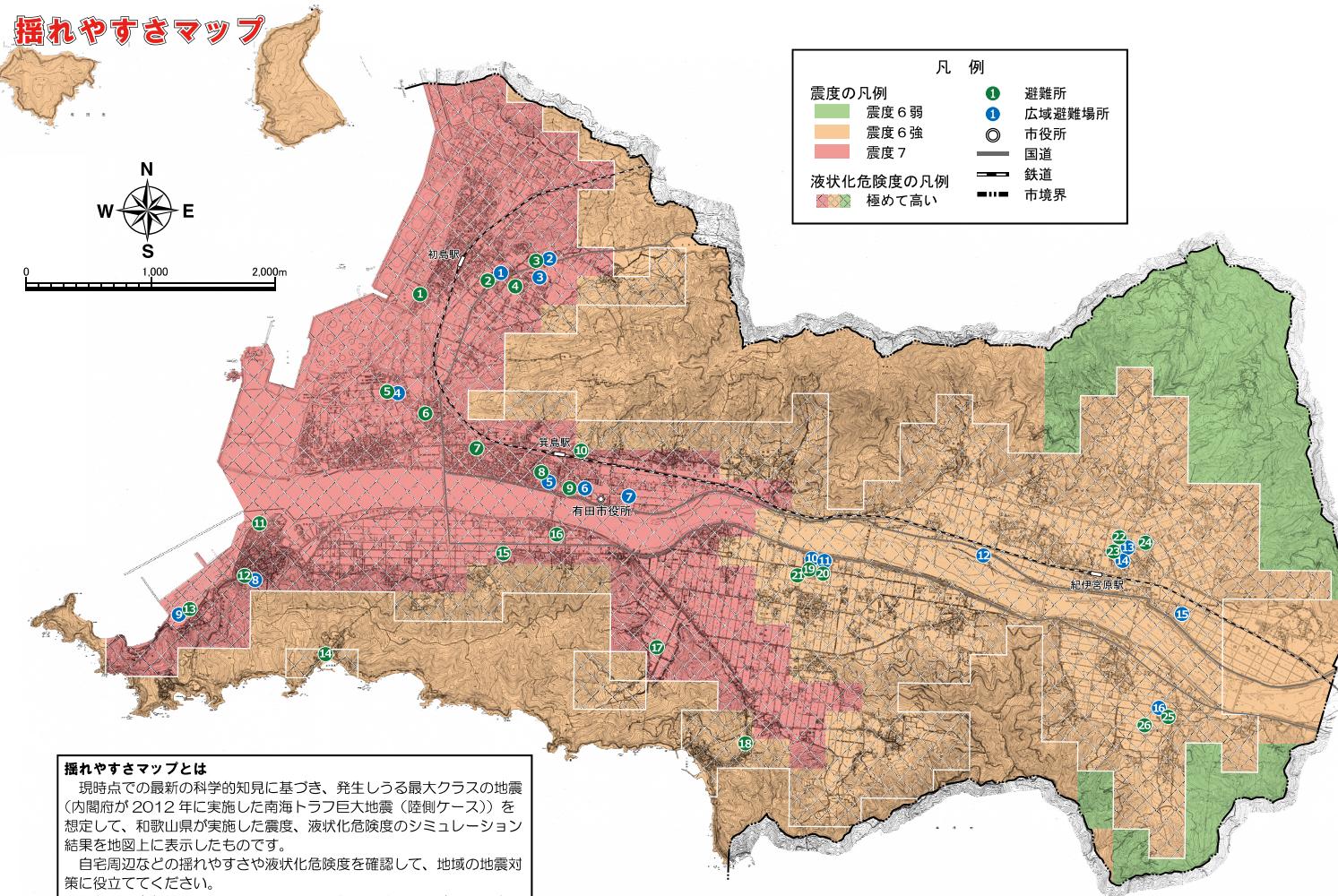
非常持出品・非常備蓄品

いざという時のため非常持出品と非常備蓄品を用意し、定期的に点検しておきましょう。

非常持出品

非常備蓄品
ヘルメット等 懐中電灯(予備電池)
携帯ラジオ(予備電池)
非常食(乾パン・菓子など)
飲料水(ペットボトル)
救急医療品・常備薬(きず薬・はんそうこうなど)
貴重品(通帳・印鑑・保険証・現金)
生活用品(カセットコンロ・毛布・衣類・キッチン用ラップ・生理用品・ビニール袋)
工具類(スコップ・バーナー・のこぎりなど)

揺れやすさマップ



災害用伝言サービス

大災害発生時は、電話がつながりにくい状況が1日～数日続くことがあります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」、「携帯電話災害用伝言板」が開設されます。

災害用伝言ダイヤルの使い方（音声録音・再生）

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって、伝言を録音・再生してください。



携帯電話災害用伝言板の使い方（文字入力・閲覧）

各社のトップメニューから「災害用伝言板」を開き、伝言の登録・確認を行います。



災害用伝言サービス体験利用日

災害時以外にも、災害用伝言ダイヤルと携帯電話災害用伝言板を体験できる「体験利用日」が設定されています。家族・親戚・友人間で体験し、災害時に備えましょう。

体験利用日	毎月 1 日・15 日 (00:00~24:00) 正月三が日 (1 月 1 日 00:00~1 月 3 日 24:00) 防災週間 (8 月 30 日 0:00~9 月 5 日 17:00) 防災とボランティア週間 (1 月 15 日 9:00~1 月 21 日 17:00)
体験内容	安否情報の登録・確認・削除

防災関係の情報の入手先

日頃から防災の意識を高め、防災に関する情報を収集を心がけましょう。

分類	ホームページ名	URL 等
総合	防災わかやま (和歌山県 防災情報)	http://www.pref.wakayama.lg.jp/bousai/index.html
津波	有田市 防災情報	http://www.city.arida.lg.jp/bousai/
地震	気象庁 津波情報	http://www.jma.go.jp/jp/tsunami/
情報提供	気象庁 地震情報	http://www.jma.go.jp/jp/quake/
	メール配信サービス登録方法	http://www.pref.wakayama.lg.jp/bousai/mail.html

避難所・広域避難場所一覧

ご自宅の近くの避難所、広域避難場所の場所を確認しておきましょう。

避難所一覧	広域避難場所一覧
面番号 施設名称 所在地	面番号 施設名称 所在地